

2015

11月

5月3日

264

サンニエ

右馬允だり

三寒四温の時です。もう少し前は春のような暖かさでしたが、今また冬の冷さの中。それでも日射しは明るく暖かく、佐保姫 今年も舞い降りて来て下さったようです。

小浜谷はダンゴウハイの花盛りと思っただけ、キブツ・フササクラと日毎に変化しています。我が右馬允の庭も待ちかねたクロッカスがようやく咲いてくれました。サンニエ、水仙と次には花開き、黄一色で春をムネ迎えています。近くの畑でスマイルか、いっはい咲いていて、その上には白梅の花がチラチラ、早春の山里の景色です。19日近くで驚かすたいはじめました。草の伸びはいい、いよいよ今年も始まります。のんびりしていた分、強い緊張感に悩まされ、気持ちを強く持って感謝の心を忘れずに元気で乗り越えていきたいものです。どうぞ、よろしくお預け致します。

14月と10日、名古屋の姉のとうで過ごさせていたが、戻ってきた友子母が帰って参りました。若さと華やかさを取り戻して、97才になった母は70才でも80才でも通る程元気で、来年の正月を楽しみに山の生活を楽しんでいたいと思います。

こちらに嫁に来てびっくりしたことは母が姉のとうへお礼と14月は平気で過ごせること。私にはとても出来ないことです。姉(ご主人様も)はさやかし大変だろうなと思いつながら羽を伸ばす訳です。中心お察し申し上げますという心境です。お世話様になりました。

遥留の
母見送り
春浅し

惠津

長女久美はヨガの勉強に週半ばと週末を回、東京にお向く冬でした。長男允は「ハリ朝」にお手伝いに。次男允は地質調査のボーリングとデータ処理のアルバイト。それぞれに冬場を乗り越えました。4月からは右馬允の南幕をそれぞれが準備、というとうた今と過ごしています。